

取引高がわずか1年半で20倍に激増した サイバーエージェントFXの「外貨ex」。 日立のAIXサーバ「EP8000」を採用し、 さらなる「安心と信頼」のサービスを目指す

サイバーエージェントFXが運営する外国為替証拠金取引サービス「外貨ex」は、2008年11月に口座開設数が6万口座を突破。同社は、システムの中核となるデータベースサーバに、日立のエンタープライズサーバ「EP8000」を採用し、高性能かつ堅牢なシステム基盤を獲得した。

詳しい内容は次のページへ



*画面はハメコミ合成です。

外国為替証拠金取引では、利用者が所定の証拠金を預託することにより、その証拠金の額に比して大きな額の取引を行うことができます。このとき利用者は、大きな利益を得る可能性がある反面、通貨等の価格又は金融指標の数値が利用者にとって不利な方向に変動することにより、損失を被るおそれがあります。かつ当該損失の額が預託された証拠金の額を上回るおそれがあります。利用者が差し入れる証拠金は取引に際し担保として差入れるものであって投資元本ではなく、また預託した証拠金相当額の返還は保証されません。利用者は取引開始にあたって、本取引の特徴、取引条件、仕組み及びリスクについて十分に理解した上で、自身の判断と責任において、自己の計算により取引を行って下さい。尚、取引レート及びスワップポイントについては、売付け価格と買付け価格に価格差(スプレッド)があります。株式会社サイバーエージェントFX(外貨ex)では、取引手数料について1回の約定数量が10,000通貨単位以上なら無料、1,000~10,000通貨単位未満なら1回の約定につき(片道)1通貨単位当たり3銭に設定してあります。必要な取引証拠金は10,000通貨単位あたり4,000円~200,000円です。レバレッジのコース及び通貨ペアごとに異なります。

高性能・高信頼な日立の「EP8000」を中核に、ピーク時でも止まる心配のないシステムを構築。さらなる「安心と信頼」のサービスを目指す

株式会社 サイバーエージェントFX(以下、サイバーエージェントFX)が運営する外国為替証拠金取引(FX)サービス「外貨ex」は、口座開設数が6万口座を突破(2008年11月現在)。急速な成長を続ける同社は、システムの中核となるデータベースサーバに、日立のエンタープライズサーバ「EP8000」を採用し、売買ピーク時にも止まる心配のない高性能・高信頼なシステムを作り上げた。サイバーエージェントFXは、新システムによって、CPU使用率が平時10%前後、ピーク時でも15%程度という余裕のシステム基盤を獲得。「安心と信頼」というブランドイメージを差別化に活かしながら、リーディングカンパニーを目指して成長を続けていく。



株式会社
サイバーエージェントFX
専務取締役
高根 宏章氏

取引高が1年半で20倍に増大した急成長サービス「外貨ex」

サイバーエージェントFXが運営する外国為替証拠金取引サービス「外貨ex」は、2008年11月、口座開設数が6万口座を突破し、急速な成長を続けている。

「外貨exの強みはレートの競争力。たとえば、為替レートの売値と買値の差であるスプレッドを非常に小さく設定しています。さらにもうひとつ、システムを刷新したことで、“安定したシステム基盤”という強みが加わった意義は大きい」と高根氏は語る。

従来のシステムは、急激な成長にハードウェア性能が追いつかず、システムダウンのリスクが懸念されていた。

「2007年5月、LinuxからUNIXへOSを移行しましたが、リニューアル1ヵ月でCPU能力に不安が出てきました」(高根氏)。

ちなみに、2007年5月の時点では、外貨exの総口座数は約1万7,000口座で、取引高は月間約3,500億円だった。これが2008年12月には、約6万4,000口座、取引高は月間約7兆円に跳ね上がっている。わずか1年半で、20倍近くに増大しているのだ。

「システムが1分でもストップすれば、すぐにレートは変動してしまい、お客さまは収益機会を失ってしまいます。売り買いが殺到する

ピーク時こそ、止まってはならないシステムなのです」(中村氏)。

2008年春、システムの負荷集中とトランザクションの急激な増加の環境でも、止まらないシステムを構築するためのプロジェクトがスタートした。

高い性能と柔軟な拡張性を評価しAIXサーバ「EP8000」を採用

根本的なシステム基盤の見直しを経て、最終的に選択したのは、日立のエンタープライズサーバ「EP8000」を中核とする高性能・高信頼なシステム編成であった。

EP8000を選んだ最大の理由は、新世代プロセッサPOWER6™による高い処理性能と、AIXの高信頼化機能による堅牢性である。

「データベースサーバは以前から、Oracle Real Application Clustersを用いクラスタ構成にして、可用性を高めてきました。また、性能を十分に引き出すには、処理の特性を考慮すると、台数を横に増やしていくスケールアウトではなく、少ない台数で性能を高めるスケールアップが不可欠でした。その点、高い処理性能を誇るPOWER6™プロセッサなら、スケールアップにピッタリです。CPU1個あたりの性能が高ければ、Oracleのライセンス



株式会社
サイバーエージェントFX
システム部
マネージャー
中村 隆之氏



株式会社
サイバーエージェントFX
システム部
アシスタントマネージャー
岩瀬 優氏

USER PROFILE

株式会社 サイバーエージェントFX

www.gaikaex.net

本社 東京都渋谷区道玄坂1-12-1
渋谷マークシティ ウェスト20階

創立 2003年9月1日

資本金 4億9千万円

株式会社 サイバーエージェントの100%子会社として、インターネットを通じた金融サービス事業を提供する会社として設立。インターネットと金融の融合による革新的な金融サービス提供を目指している。

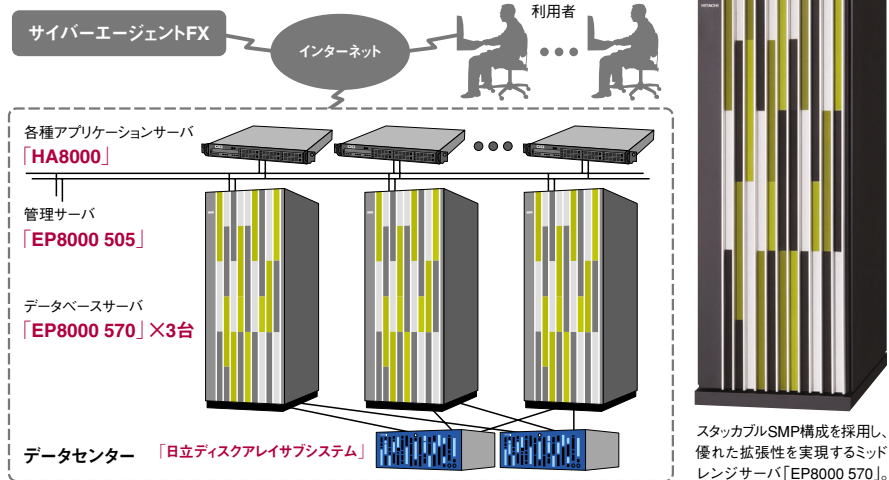
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第271号 社団法人金融先物取引業協会加入

CyberAgent FX



急増する取引にも余裕の体制で応えるディーリングルーム。

(株)サイバーエージェントFXの「外貨ex」新システム概要



料金を抑えられるというメリットもありました」(岩瀬氏)。

しかもEP8000は、スタックブルSMP構成による柔軟な拡張性を誇る。同社が採用した「EP8000 570」のPOWER6™搭載モデルの場合、最大16wayまで搭載可能だ。

アプリケーションは、株式会社 スリーエイ・システムの「外国為替証拠金取引システムパッケージ」を引き続き採用。このパッケージを用いたシステム構築は、豊富な実績を持つ株式会社 日立システム九州(以下、日立システム九州)が担当した。

「EP8000を評価したもう一つのポイントは、日立が末永くつきあっていきたいパートナーであると感じさせてくれたことです。24時間365日ノンストップという厳しい要件を満たさなければならぬシステムにおいても、必ず安定したシステムを作ってくれるというコミット感がありました」(高根氏)。

「EP8000を作っている日立の工場を見学して、品質面でも優位性を確信しました。国内工場で組み立て、ランニングテストも自分たちの手で行っているという信頼感は大きいです」(岩瀬氏)。

さらに日立は、データベースサーバのみならず、Webアプリケーションサーバやストレージなどの各種ハードウェア、関連ソフトウェアの開発までをトータルにサポート。グループ全体

の力を結集して、高性能・高信頼なシステムを作り上げた。

**最大90%だったCPU使用率が
ピーク時でも15%に**

EP8000を中核に据えた新システムは、2008年10月に稼働を開始。UNIXからAIXへの移行も、スムーズに進んだ。

たとえば運用管理は、OSを変更すればアラートの内容も変わるが、日立システム九州は、AIXとその他のUNIXの豊富な導入実績のノウハウを活かして、極力ユーザーインターフェースの変更を伴わないスムーズな移行を実施した。

システム更改は、EP8000の圧倒的な処理性能と堅牢性を強く印象づけた。

更改直前、旧UNIXサーバ4台に搭載した合計32CPUは、使用率が最大で80~90%に達していた。これを、8CPUをアクティブにした3台のEP8000(合計24CPU)へと切り替えた途端、使用率が10%程度に下がったのだ。

しかもこの時期、過去最高の取引高を日々更新し続けていたにもかかわらず、10%程度を維持し続けた。

さらに、10月末にドルが90円を切った際には、最大のピークを迎えたが、使用率は15%程度にとどまったのである。

「システムが安定したことは、われわれシステム部にとっても大きなメリットです。ユーザービリティの向上や取引チャネルの強化など、戦略企画に安心して力を振り向けていくことができます」(中村氏)。

**利用したCPUの分だけ支払う
新サービスにも注目**

同社は最近、8CPU構成だったEP8000を、予備用として搭載しているプロセッサを必要に応じて、すぐに増設が可能となるCUoD(Capacity Upgrade on Demand)機能を使い、12CPU構成へと拡張して、さらに余裕の体制を整えた。

「EP8000は、急激な負荷増にも対応しやすいCUoD機能を持っているので安心です。また、使用したCPUの分だけを支払うサービスも始まるということなので、より有利なキャパシティプランニングに役立つ選択肢が増えると注目しています」(岩瀬氏)。

「今後もサイバーエージェントFXは、信頼できる取引システムを提供し、より多くのお客さまに安心して為替取引をしていただけるように努めてまいります」(高根氏)。

さらなる成長を安心して展開できるシステム基盤を手に入れたサイバーエージェントFXを、今後も日立とEP8000が支えていく。

●本システムは、株式会社日立システム九州が、提案・構築から保守にいたるまで担当しています。

SMP: Symmetric Multiprocessing

- Linuxは、Linus Torvaldsの米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。
- UNIXは、X/Open Company Limitedが独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。
- AIXは、米国における米国International Business Machines Corp.の登録商標です。
- POWER6は、米国における米国International Business Machines Corp.の商標です。●Oracleは、米国Oracle Corporationの登録商標です。
- その他記載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

お問い合わせ

記事に関しては、株式会社日立製作所 エンタープライズサーバ事業部 TEL.03-5471-3270
製品に関しては、HCAセンター ☎ 0120-2580-12 (注、祝日を除く 9:00~12:00 13:00~17:00)

日立エンタープライズサーバ

EP8000 series

www.hitachi.co.jp/EP8000/